

コンクリート面及び押出成形セメント板面

7章8節: 耐候性塗料塗り(DP) Vフロン#200スマイル上塗

公共仕様No.
DNT-改修・8-3-07

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	マイティー万能エポシーラー クリヤー	F☆☆☆☆	塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA
2 JASS 18 M-405 常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗り	Vフロン#200スマイル中塗	F☆☆☆☆	塗料用シンナー
3 JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 1級	Vフロン#200スマイル上塗	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	-			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
5 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	-	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
 2. 工程5のシーラーは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種(ただし、新規材料面に耐候性塗料塗り以外の塗装を行う場合はRB種)とし、工程11に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。
 5. 屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めのパテしごきに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【A-1種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	マイティー万能エポシーラー	クリヤー	主剤14: 硬化剤1	30~50	刷毛 ローラー	0.08	4時間以上※1
					スプレー		
2 中塗り	Vフロン#200スマイル中塗	各色	主剤90: 硬化剤10	5~10 10~20	刷毛 ローラー	0.14	2時間以上
					スプレー		
3 上塗り	Vフロン#200スマイル上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	5~10 10~20	刷毛 ローラー	0.10	-
					スプレー		

※1: 壁面での塗り重ね最小時間です。屋根面での歩行可能な最小時間は16時間です。

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。
 ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り

コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表7.8.3により、種別は特記による。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。